

### 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	麻の加工品技術の習得と子供の居場所づくり事業
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 信州麻プロジェクト 理事長 風間俊宣 (長野市鬼無里 12130 番地 090-4075-3428)
事業区分	(3) 教育及び文化の振興に関する事業 (8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	430,600円 (うち支援金: 339,000円)

#### 事業内容

麻の体験学習1:平成29年10月20日(金)9:00~11:30

参加者:①児童:25名 ②指導員:5名 等

麻糸づくり(1):麻煮、麻剥、麻搔

同上2.平成30年2月6日(火)9:00~11:30

参加者:①児童:25名 ②指導員:4名 等

麻糸づくり(2):麻績み、糸撚り、糸合わせ

同上3.平成30年2月28日(水)10:00~12:00

参加者:①児童:25名 ②指導員 7名 等

アングイン編講習会 (コースターづくり)



【目標・ねらい】

#### 事業効果

1. 体験学習において、麻糸づくりの技術を持っている児童の祖父母・両親が技術指導し、公民館関係者、地域おこし協力隊員も協力して、新しい学校づくりの基礎がつけられたこと。
2. 体験学習を通じて、かつて地域に根付いていた伝統産業の重要性を児童が認識したこと
3. 上記伝統産業の技術を継承している祖父母等の世代に対し、児童が認識を新たにする機会が生まれたこと。
4. 鬼無里以外の出身者が大半を占める教員が新たに鬼無里の地域特性を理解し、鬼無里の麻糸づくりが持っていた経済的・社会的役割を認識したこと。
5. 鬼無里地区外の参加者と鬼無里住民と交流することができたこと

- ①地域と一体化した学校づくり
- ②地域の伝統産業の理解。
- ③体験学習を製品づくりに発展
- ④体験学習を「子どもプラザ」で実施する態勢の整備

#### ※自己評価【 B 】

##### 【理由】

1. 麻糸づくりはすでに10年の経験があり、予定通りの成果を生むことができた。
2. アングイン編講習は事前にNPO社員が十分準備したことにより、予定通りの成果が得られた。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

次年度からの小中一貫教育の下で中学生も参加し、今年度始めたアングイン編の技術を生かして、糸づくりにとどまっていた体験学習から進み、麻糸を使った様々な製品の制作に取り組むこと。

次年度から新校舎の施設「子どもプラザ」を活用して継続的な作業に取り組み、地域住民・NPO法人会員以外の様々な地域の住民も参加して「子どもの居場所づくり」に取り組むこと。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある